

# 第2期計画の重点目標設定の考え方

【重点目標1】飲酒に伴うリスクに関する知識の普及を徹底し、将来にわたるアルコール健康障害の発生を予防

国 第2期計画（R3～R7）			県 第2期計画（R5～R9）			
指標	現状値	目標値	指標	現状値	目標値	考え方
生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合減少	男性: 14.9% 女性: 9.1% (R1)	男性: 13.0% 女性: 6.4%	<b>継続</b> 生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合減少	男性: 16.0% 女性: 2.9% (H28)	男性: 13.0% 女性: 減少	第1期の目標を達成していないため、引き続き同様の目標値とする。
20歳未満の者の飲酒をなくす	高3男子: 10.7% 高3女子: 8.1% (R1)	0%	—	—	—	指標値が得られないため、設定しない。
妊娠中の飲酒をなくす	1.2% (H29)	0%	<b>継続</b> 妊娠中の飲酒をなくす	0.7% (R3)	0%	妊婦の飲酒率は減少しているものの、第1期の目標を達成していないため、引き続き同様の目標値とする。

【重点目標2】アルコール健康障害に関する予防及び相談から治療、回復支援に至る切れ目のない支援体制の整備

国 第2期計画（R3～R7）			県 第2期計画（R5～R9）			
指標	現状値	目標値	指標	現状値	目標値	考え方
全ての都道府県・政令指定都市におけるアルコール健康障害対策に関する関係者連携会議の設置・定期的な開催	【関連指標】 設置状況： 57／67 自治体 (R2) 開催状況（年複数回）： 8／67 自治体 (R元)	年複数回	<b>新規</b> 依存症支援関係機関連絡会やアルコール健康障害対策関係者会議の開催	年1回 (R3)	年複数回	国第2期計画の指標に準じて設定する。
アルコール依存症に対する正しい知識・理解を持つ者の割合	—	継続的な向上	<b>新規</b> かかりつけ医依存症等対応向上研修の参加者数	56名 (R3)	増加	一般医療との連携を進める観点から設定する。
アルコール健康障害事例	【関連指標】 アルコール性肝疾患患者数：3.7万人 (H29) 死亡者数: 0.5万人 (R元)	継続的な減少	<b>新規</b> アルコール性肝疾患の死亡者数	38名 (R3)	減少	国第2期計画の関連指標に準じて設定する。